

police & college

ヘルメットフェスティバル in 龍谷

龍谷大学 浜井ゼミ

発表日：11月12日

自転車ヘルメット着用の促進

目次

- 01 現状分析
- 02 提案 ヘルメットフェスティバル
- 03 参考事例
- 04 イベント内容
- 05 イベントの応用
- 06 参考文献



01

現状分析



現状

都道府県別の自転車のヘルメット着用率(7月) 

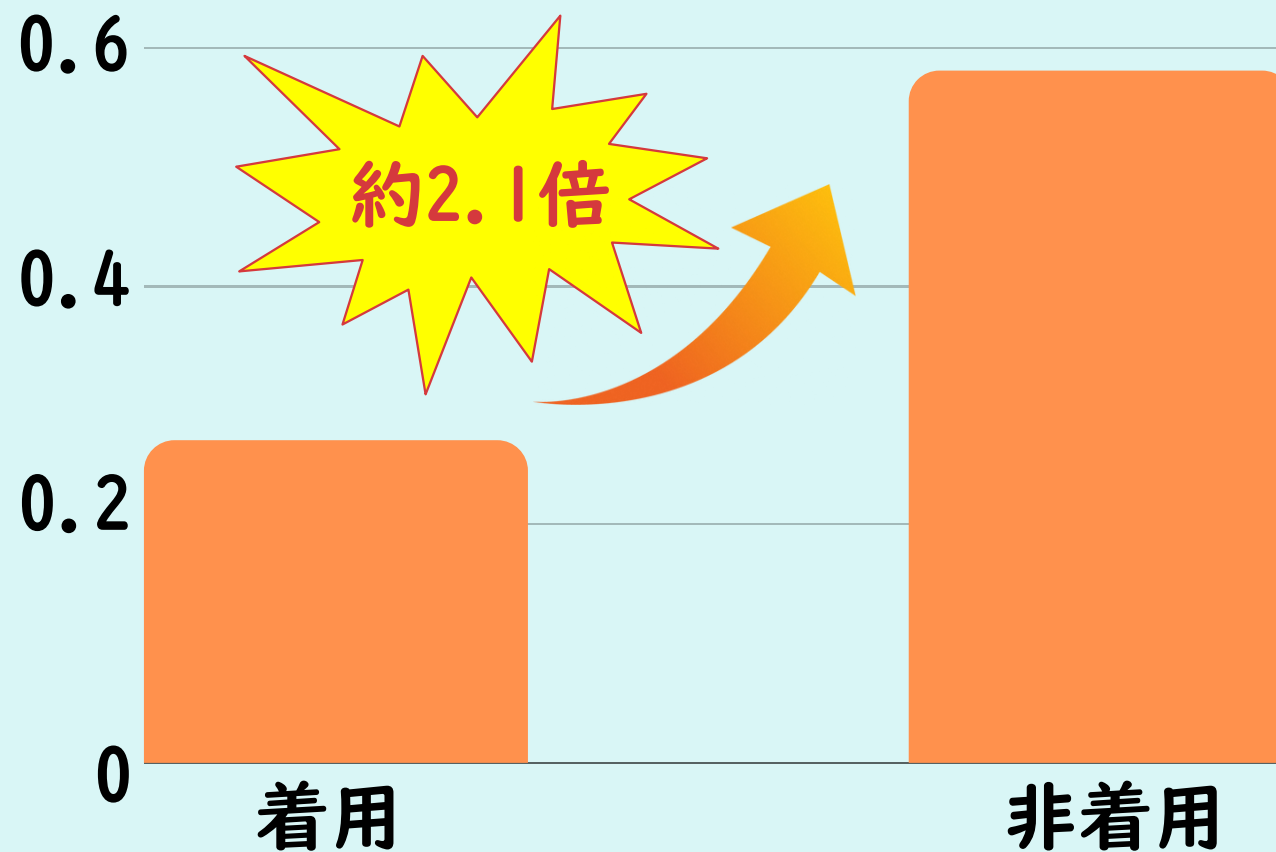
滋賀	7.2%	岡山	7.4 (4.3)	佐賀	23.4
京都	10.5 (4.2)	広島	6.6 (4.2)	長崎	10.5
大阪	4.2 (2.4)	山口	21.5	熊本	8.3 (7.8)
兵庫	6.2 (1.9)	徳島	18.4	大分	46.3
奈良	8.3	香川	7.1	宮崎	7.7
和歌山	12.6	愛媛	59.9	鹿児島	10.6
鳥取	30.9	高知	13.4	沖縄	8.5
島根	11.3	福岡	8.0 (2.8)	平均	13.5 (4.0)

警察庁の資料より

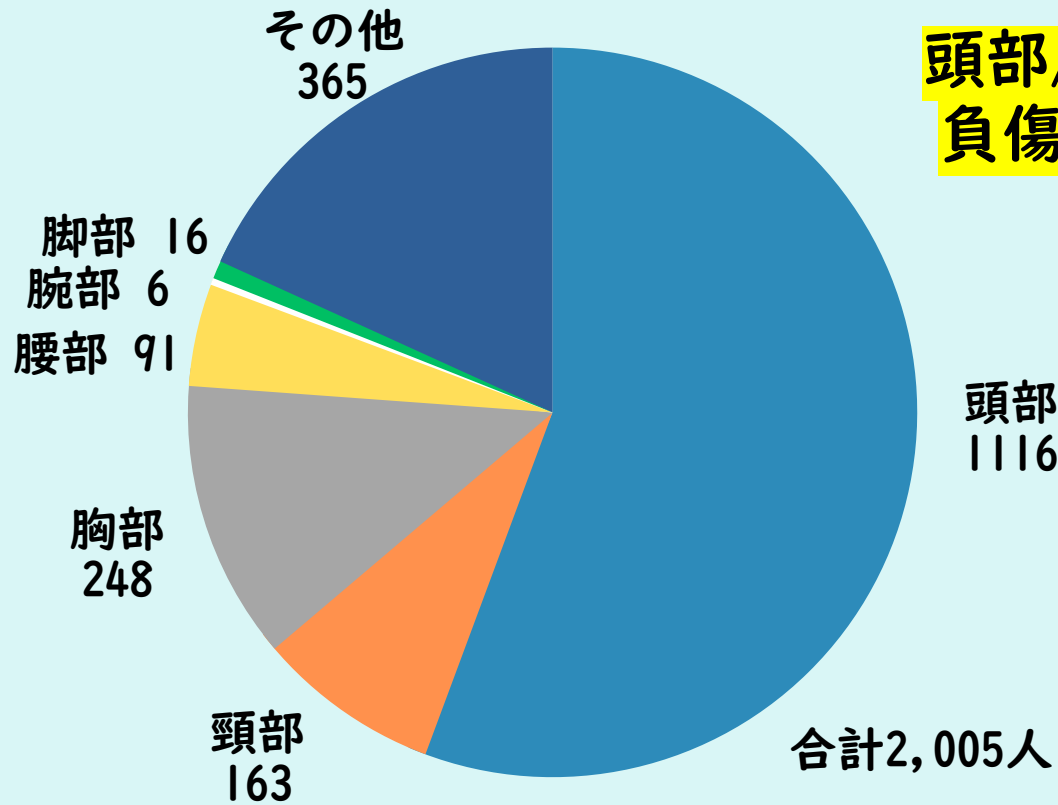
- 7月時点の京都の着用率は10.5%
- ヘルメットの着用率が低い

自転車乗用中のヘルメット 着用状況別の致死率

(平成30年～令和4年合計)

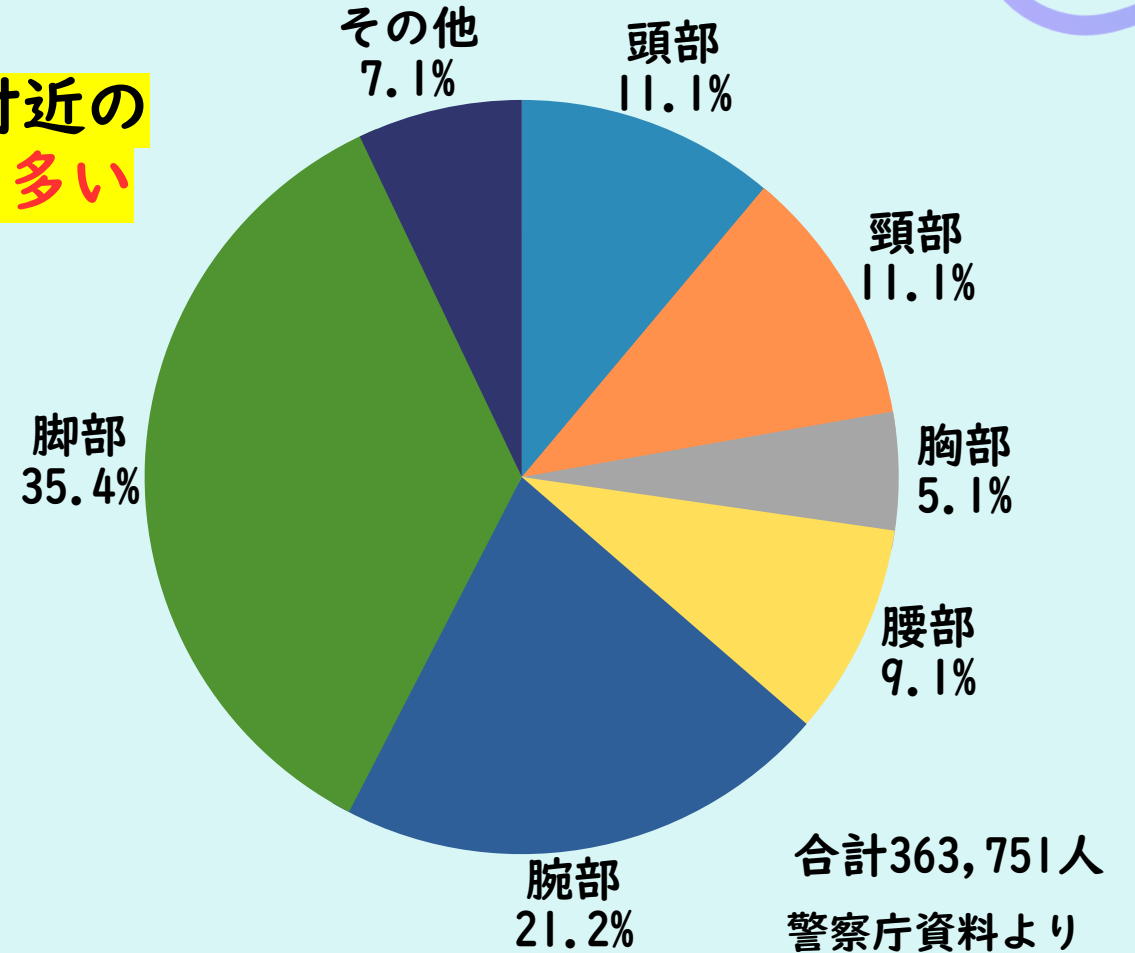


自転車乗用中死者の
人身損傷主部位別
(致命傷の部位)
(平成30～令和4年合計)



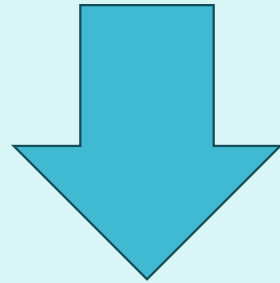
頭部/顔面付近の
負傷が特に多い

自転車乗用中負傷者の
人身損傷主部位
(平成30～令和4年合計)




分析

- 頭部損傷が重大な事故につながる
- ヘルメット着用率が低い



ヘルメットの**重要性**と**認知**が必要



02

提案



ヘルメットフェス

In 龍谷

目的

- ・楽しみながらヘルメットの重要性を知ってもらう
- ・ヘルメットをより身近にすることで、着用率を上げる

場所

龍谷大学
(深草キャンパス)

時期

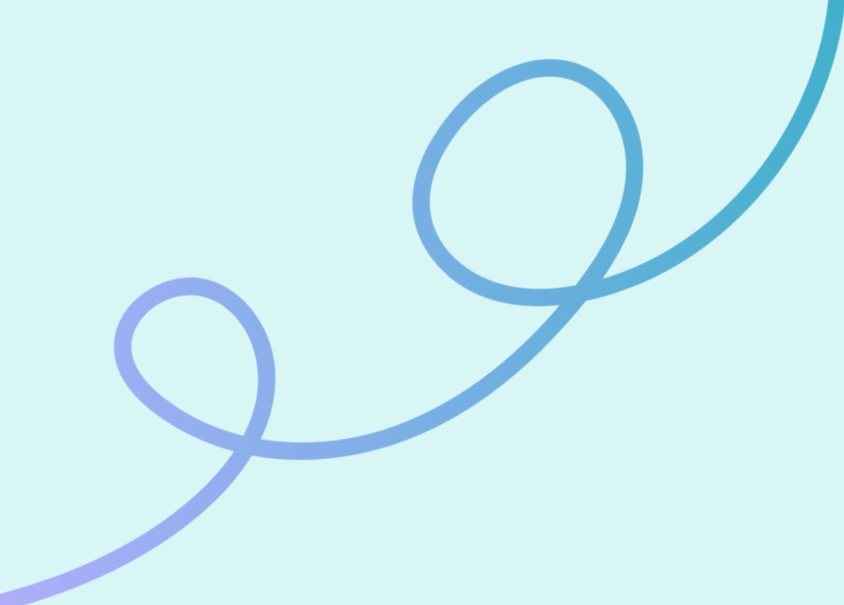
11月頃 龍谷祭
(文化祭)

集客方法

- ポスター
- チラシ配布
- SNS
- 学校への訪問、呼びかけ

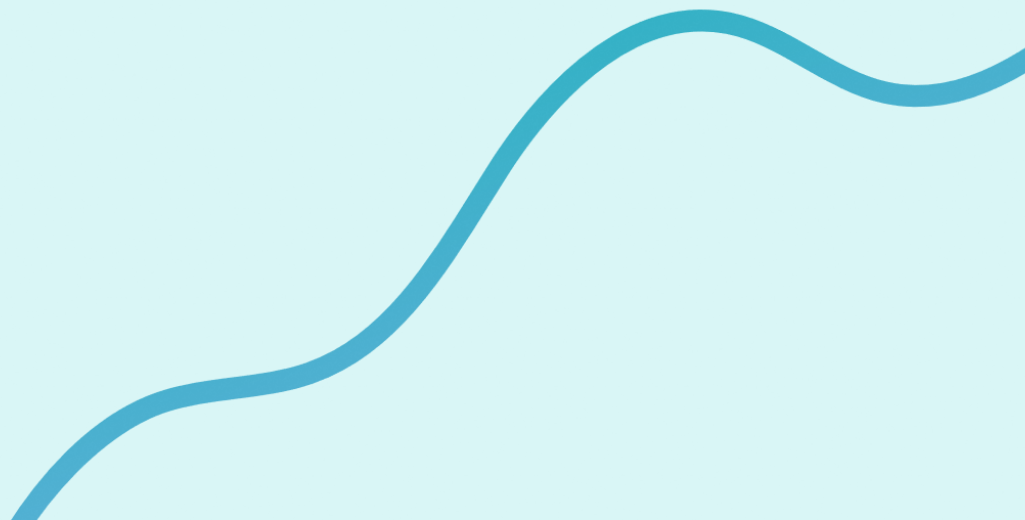
ヘルメットフェスの内容

- 1, ヘルメットコンテスト
- 2, ワークショップ
- 3, ヘルメットの展示
- 4, ヘルメットのカタログ展示
- 5, ヘルメットの重要性の展示
- 6, スタンプラリー



03

参考



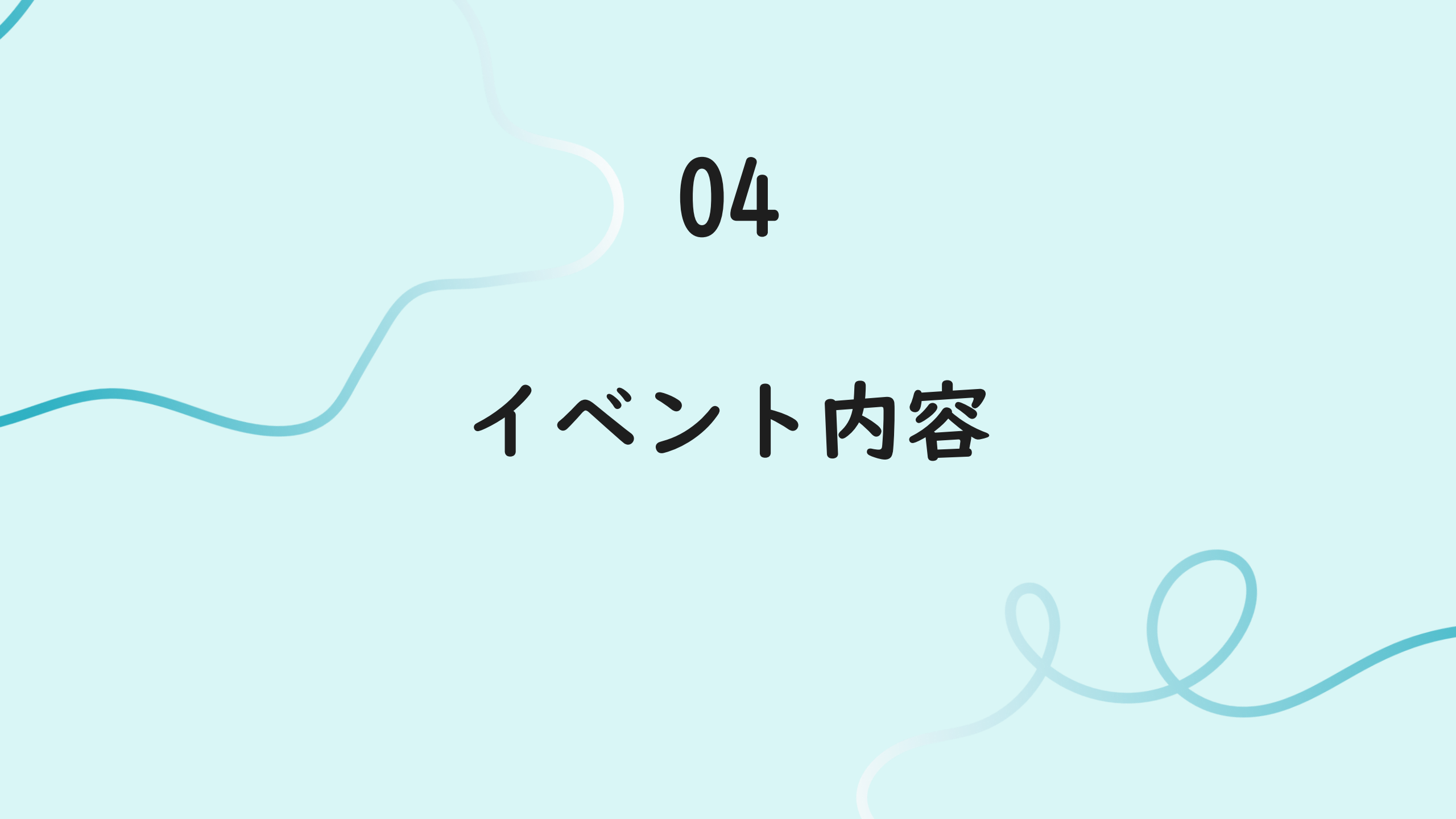
・ TBSラジオGWフェスティバル



画像参照

TBSラジオ

<https://www.tbsradio.jp/gwfes2023/>



04

イベント内容

1, ヘルメットコンテスト

— 日常に“安全”と“個性”を —

・募集内容

【デザイン部門】

ペイントなどヘルメットデザインの作成
(キャラクターの使用禁止)

【私の推しヘル部門】

自分の好きなキャラクターのヘルメットの作成(概念あり)

・審査方法

両部門、デザイン審査のみ



- コンテストテンプレート



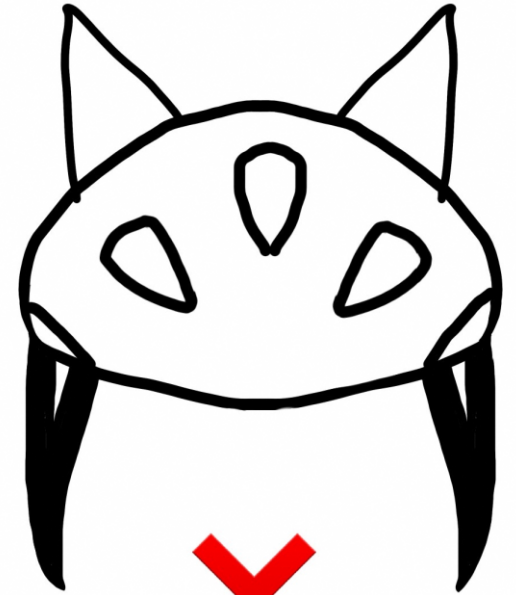
前



後



左右
側面

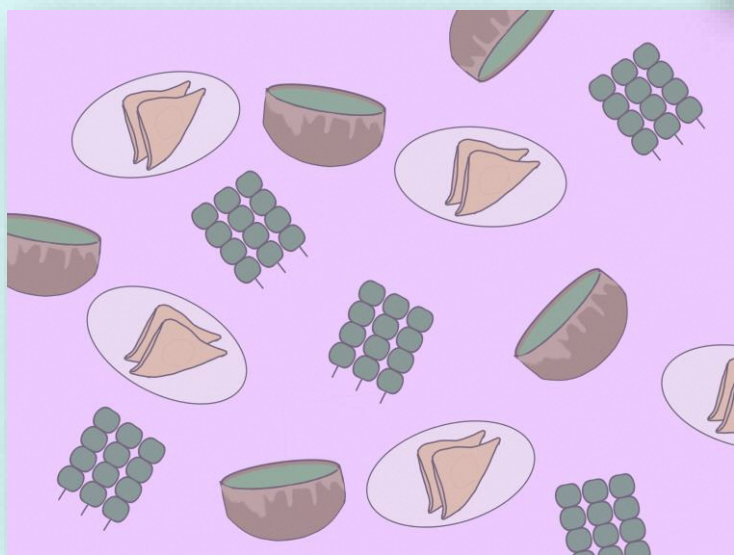
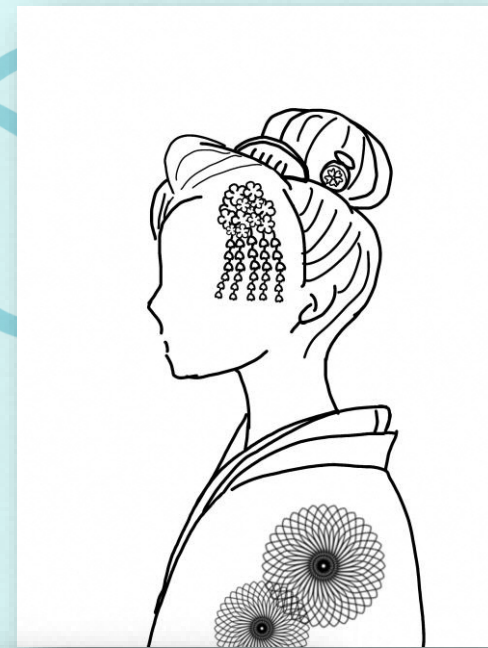
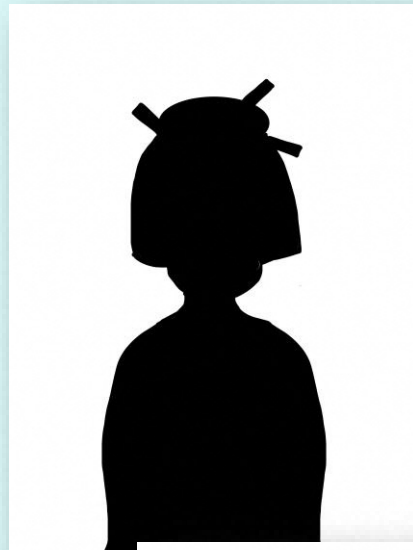
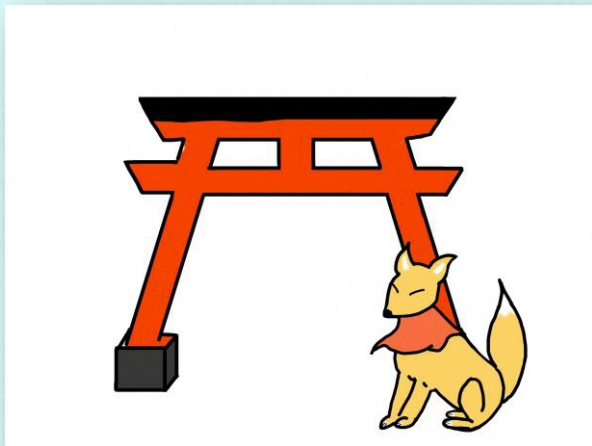


2, ワークショップ

- 来場者にオリジナルのステッカーを作成してもらう
- 舞妓さんの服装をデザイン
- 大きい**反射材**に透明ステッカーを貼る
→貼った場所がシルエットとして見える
- **反射材**テープなども利用



• ステッカーデザイン例



3, ヘルメットの展示

- 自作の押しヘルの展示
- 企業の変わり種ヘルメットの展示

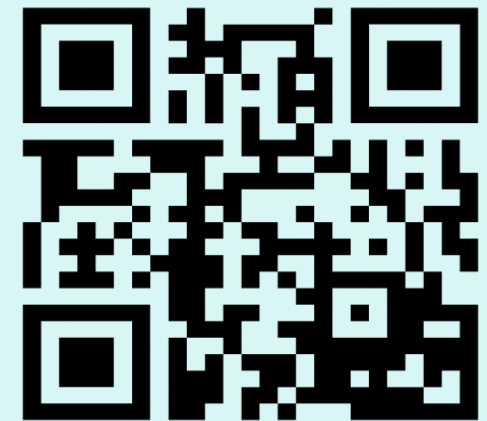


4, ヘルメットのカタログ展示

- ・ヘルメットを製造、販売している企業、会社に協力してもらい、ヘルメットのカタログを展示
- ・部数は各50～80部でQRコードのカタログもあれば用意

【主な企業・会社】

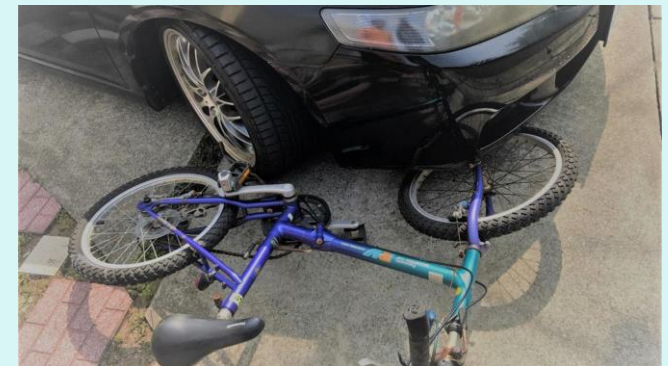
- ・株式会社OGK KABUTOさん
- ・有限会社真田嘉商店さん
- ・株式会社丸山商店さん
- ・株式会社ユーワさん 等



5, ヘルメットの重要性の展示

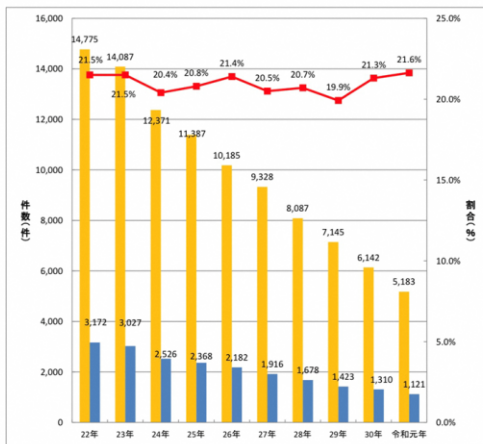
展示内容

- ・自転車事故の実態 (件数、態様)
- ・ヘルメット着用の効果



1 府内全交通事故発生件数に占める自転車事故の推移

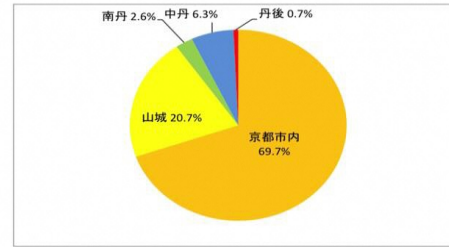
自転車事故の発生件数は年々減少しているものの、全交通事故に占める自転車事故の割合は約20%で推移している。



年	全事故件数	自転車事故					
		発生件数	構成比	死者数	構成比	負傷者数	構成比
平成22年	14,775	3,172	21.5%	14	14.6%	3,121	17.5%
23年	14,087	3,027	21.5%	13	12.6%	2,999	17.6%
24年	12,371	2,526	20.4%	15	14.2%	2,502	16.6%
25年	11,387	2,368	20.8%	12	17.1%	2,327	16.9%
26年	10,185	2,182	21.4%	9	13.0%	2,130	17.2%
27年	9,328	1,916	20.5%	8	9.2%	1,862	16.5%
28年	8,087	1,678	20.7%	10	16.7%	1,626	16.8%
29年	7,145	1,423	19.9%	12	18.2%	1,357	15.9%
30年	6,142	1,310	21.3%	5	9.6%	1,269	17.5%
令和元年	5,183	1,121	21.6%	10	18.2%	1,057	17.4%

4 地域別自転車事故発生状況(令和元年中)

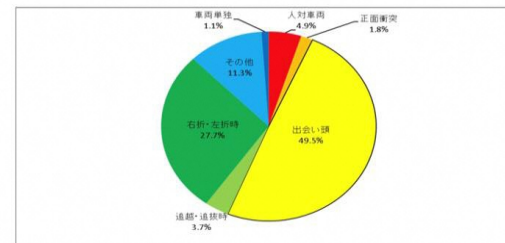
自転車事故の発生が最も多いのが京都市内、次いで山城地域となっており、両地域で90%以上を占めた。



	京都市内	山城	南丹	中丹	丹後
件数	781	232	29	71	8
割合	69.7%	20.7%	2.6%	6.3%	0.7%

5 事故類型別自転車事故発生状況(令和元年中)

自転車事故のうち、出会い頭によるものが最も多く、次いで右折・左折時のものであった。



	総数	車間相互						車間単独	列車事故
		人対車両	正面衝突	出会い頭	追突・追撞時	右折・左折時	その他		
件数	1,121	35	20	555	41	311	127	0	
割合		4.9%	1.8%	49.5%	3.7%	27.7%	11.3%	0%	

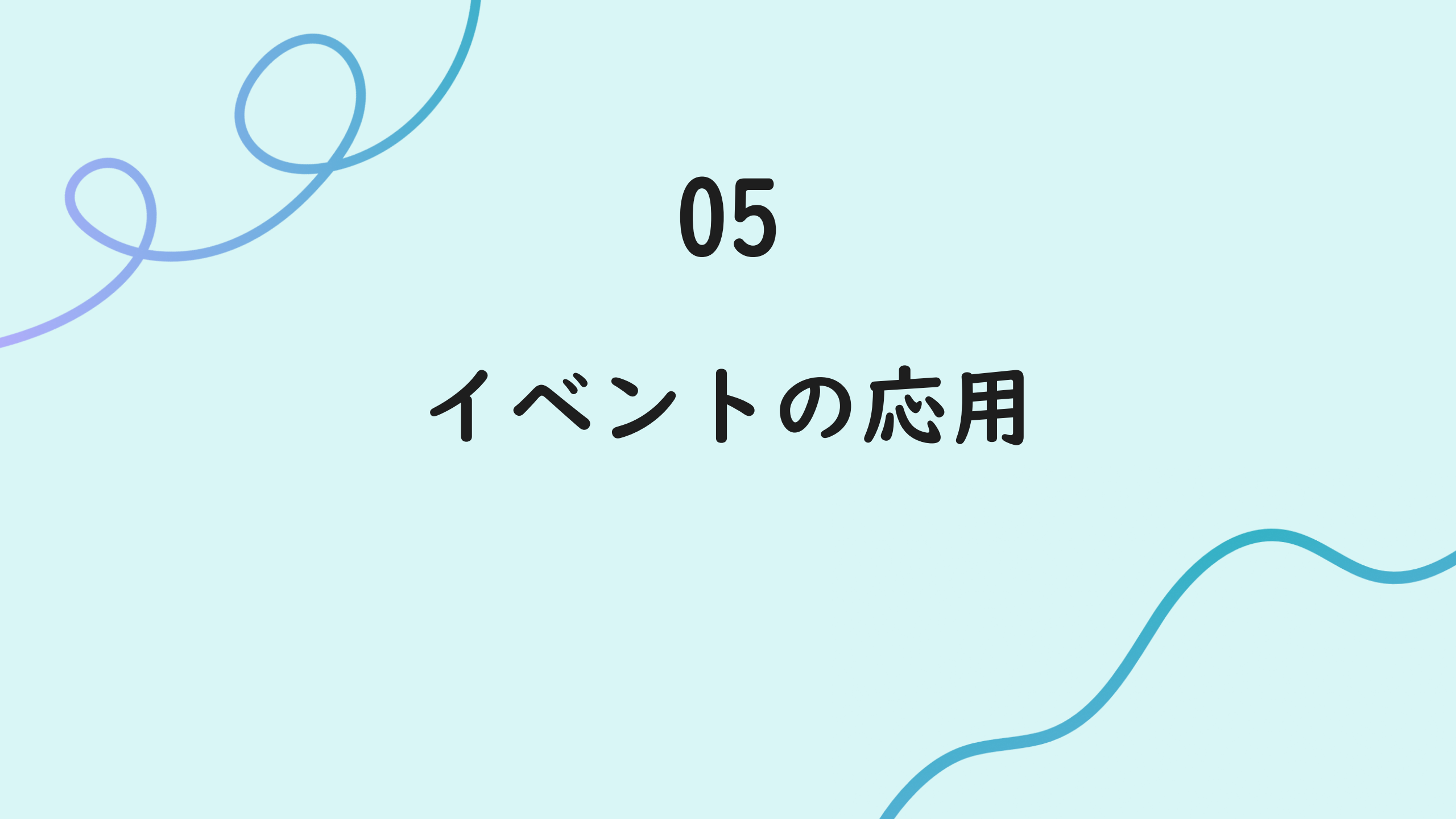
- ヘルメットの安全性実験コーナー



6, スタンプラリー

各展示物の場所にスタンプを設置し、
スタンプを集めてもらうことによって展示物を
すべて見てもらう。





05

イベントの応用

簡略化と宣伝

- ヘルメットの安全性&着用率
- オリジナルデザインのヘルメット
- ワークショップ

ヘルメットの安全性宣伝例

「あの時、ヘルメットをかぶっていたら…」

ヘルメット着用で死亡率2分の1
自転車事故による死者、56%は頭部の損傷

デザインの実例

(デザイン部門)



前



後



左右側面



(デザイン部門)



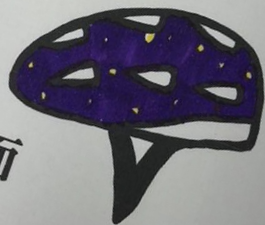
前



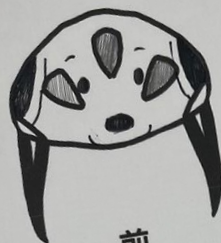
後



左右側面



スヌーピー (推レハル部門)



前



後



左右側面



マリオ (推レハル部門)



前



後



左右側面






ワークショップの様子



メリット

- 簡潔にすることで短い時間で伝えやすい
- 楽しく体験することで印象に残りやすい
- 同一の内容を誰でもできる

- 
- ヘルメットフェス in 龍谷
 - フェスの簡略化と宣伝
- 



06

参考文献

・警察庁 頭部の保護が重要です 自転車用ヘルメットと頭部保護帽
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html>

・警察庁 自転車は車のなかま～自転車はルールを守って安全運転～
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/info.html>

・東京都GRAND CYCLE TOKYO 「ヘルメットコンテスト」
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/08/24/13.htm>

・ヘルメット着用効果実験 -
YouTube<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=7pbTBfntaAY&shem=iosic>

・aliexpress 「ヘルメットステッカー」



ご清聴ありがとうございました